



大場國彦教授 履歴・業績

大場國彦教授 履歴・業績

本籍地 静岡県浜松市老間町43番地

現住所 同上

〔履 歴〕

昭和10年11月3日生 静岡県浜名郡芳川村老間（現浜松市老間町）

〔学 歴〕

昭和30年3月 静岡県立浜松北高等学校卒業

昭和34年3月 学習院大学文学部ドイツ文学科卒業 学習院大学文学士

（資格）

中学校教諭1級普通免許状（ドイツ語）

高等学校教諭2級普通免許状（ドイツ語）

昭和34年4月 中央大学大学院文学研究科修士課程独文専攻入学

昭和36年3月 中央大学大学院文学研究科修士課程独文専攻修了 中央大学文学修士

〔職歴及び役職〕

昭和35年4月 中央大学文学部副手（昭和37年3月まで）

昭和37年4月 専修大学兼任講師（昭和38年3月まで）

千葉短期大学兼任講師（昭和38年3月まで）

昭和38年4月 専修大学経営学部専任講師（昭和44年3月まで）

千葉商科大学千葉短期大学兼任講師（昭和44年3月まで）

昭和39年 4 月	学生部委員（昭和45年 3 月まで） 専修大学商学部へ配置換え
昭和39年 4 月	東海大学兼任講師
昭和44年 4 月	専修大学商学部助教授
昭和44年 7 月	教養課程委員会委員
昭和47年 4 月	学生寮指導委員会委員
同年 6 月～ 9 月	ドイツ連邦共和国ニュルンベルク市で開催されたゲーテ・インスティトゥート主催の「外国人ドイツ語教師のためのゼミナール」に派遣される。
昭和49年 6 月	教養課程委員会委員 図書館委員会委員
昭和50年 2 月	二部学生部委員
昭和53年 6 月	教養課程委員会委員 LL 研究室運営委員
昭和56年 2 月	DAAD（ドイツ学術交流会）の「3ヶ月招待」を受け、 ミュンヘン大学の Prof. Dr. Wolfdietrich Rasch の下 で指導を受ける。
昭和56年 4 月	専修大学商学部教授
昭和57年 4 月	図書館委員会委員
昭和58年 2 月	学生部委員会委員
昭和59年11月	図書館委員会委員
昭和60年 4 月	体育部委員会委員 図書館委員会委員
昭和62年 4 月	入学試験委員会委員
昭和63年 3 月	専修商学論集 第45号 編集委員会代表

- 平成元年 4 月 平成元年度専修大学長期在外研究員として1年間ドイツ連邦共和国ミュンスター大学の Prof. Dr. Herbert Kraft の下で指導を受ける。
- 平成 3 年 6 月 教養課程委員会委員
LL 教室運営委員会委員
- 平成 4 年 4 月 教員資格審査委員会委員
図書館委員会委員
商学部スポーツ推薦入学試験委員長
- 平成 8 年 4 月 教員資格審査委員会委員
- 平成 9 年 4 月 商学部第 2 種 奨学生選考委員長 奨学生指導教授
- 平成10年 4 月 商学部第 2 種 奨学生選考委員長 奨学生指導教授
- 平成11年 2 月 学生部次長（奨学金担当）
- 平成12年 2 月 学生部次長（奨学金担当） 商学部奨学生指導教授
- 平成12年 3 月 商学部奨学生指導教授

〔課外活動支援〕

- 昭和39年10月～約40年間 専修大学エーデルワイス同好会顧問。当同好会は学長表彰を受ける。
- 平成 2 年 2 月 1989/90ミュンスター（西独）に時は流れて一あるドイツ語教師の体験から
専修大学図書館主催の公開講座における講演
- 平成 3 年 7 月 ドイツ文学者が現地でみたベルリンの壁崩壊
和歌山県日高郡南部川村中央公民館主催による南部川村成人大学での講演
- 平成16年11月 専修大学エーデルワイス同好会創立40周年記念講演会 シンポジウム「郷学共振」

〔所属学会〕

- | | |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和34年 5 月 | 日本独文学会 |
| 昭和38年 5 月 | 日本ゲーテ協会 |
| 昭和63年 4 月 | ゲオルゲ研究会 |
| 平成元年 8 月 | DAAD 友の会 |
| 平成 2 年 2 月 | <p>Japanische Kurzgedichte : Tanka und Haiku (日本の短詩：短歌と俳句)</p> <p>ミュンスター大学ドイツ文学研究所ドイツ文献学上級ゼミナール (Prof. Kraft) における講演 (独文約15頁)</p> <p>IVG (ドイツ語学文学国際学会)</p> |
| 平成 3 年 | <p>日独協会</p> <p>学習院大学ドイツ文学会</p> |
| 平成12年 | Münster 大学 Prof. Dr. Hans Hundsnurscher 退官記念学会に招待される。 |

〔主 要 業 績〕

〔共 著〕

- | | |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和37年 5 月30日 | <p>山口四郎編 訳詩集「孤独者たちのうた」朝日出版社 飯豊道男, 大森五郎, 菊池武弘, 栗原万修, 小島正男, 岡田朝雄, 大場國彦</p> |
| 平成 5 年 4 月 | <p>シュテファン・ゲオルゲ, 野村琢一監修 ゲオルゲ研究会訳『生の絨毯 前奏 夢と死の歌』東洋出版 ゲオルゲ研究会：太田四郎, 岡田朝雄, 小林貴美子, 小野和子, 大場國彦</p> |

〔翻 訳〕

- 昭和60年 5月 ブルーメンタール ゲーテの『タッソー』におけるアルカディア 単著 専修大学商学論修 翻訳
- 昭和35年 1月 独訳 志賀直哉作：『清兵衛と瓢箪』単著 同人雑誌 Wohin に掲載

〔論 文〕

- 昭和34年 3月 カロッサ研究 単著
- 昭和36年 3月 ゲーテの“Faust”における方言韻 単著
- 昭和44年 7月 Erich Kästner の苦悩と抵抗に関する一つの素描 単著 専修大学商学論集第8号
- 昭和45年 6月 ゲーテの『タッソー』解釈の試み(1) —その成立と月桂冠の象徴について 単著 専修人文論集第5号
- 昭和46年11月 プレーメン演出によるゲーテの『タッソー』単著 専修人文論集第21号
- 昭和47年11月 ベルリグヴァルドーへの道 単著 専修大人文研月報第27号

〔資 料〕

- 昭和43年 9月 高橋健二編 ケストナー「いなくなった二人の生徒」注釈 共著 朝日出版社 中級教科書
- 昭和43年 9月 高橋健二編 ケストナー「焼かれた本」注釈 共著 朝日出版社 中・上級用教科書
- 昭和58年 3月 ゲーテの『タッソー』注釈ノート(Ⅰ) 単著 専修大学商学論集第35号
- 同(Ⅱ) 単著 同 第36号
- 同(Ⅲ) 単著 同 第37号

同(Ⅳ) 単著 同 第38号

編訳研究ノート

平成17年1月

Japanische Kurzgedichte:Tanka und Haiku 商学
論集第80号 講演資料

〔書 評〕

平成6年3月

書評 マルコム・ゴドウィン著 大瀧啓裕訳『天使の
世界』単著 ニュース専修第285号ニューブックス欄